

策定本部における検討内容一覧

産業振興分科会

※下線は 11 月に提案発表頂いた事業です。

| 市民会議提案 | | | 策定本部における検討内容 | | |
|--------|---------------------------|-----------------------------------|--------------|--|--|
| No. | 施策名 | 事業 | 関係課 | 第 5 次総合計画への対応 | 理由・効果など |
| 1 | 「食品・製品の差別化」 | ① 差別化商品開発事業 | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 本市農業の持続的な成長や魅力向上を図る上でも、本市の農資源を核として、他産業との連携を促進し、差別化商品の開発を行っていくことが必要である。 また、組織化することで、会員が持つノウハウや情報を相互に活用することにより、効率的にビジネスモデルを構築することができるようになり、より一層の効果が見込める。 |
| | | ② 安全・安心な地元食材を利用した产品开发(コンクール事業で実施) | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> コンクール事業を実施することは、消費者における「食」と「農」に対する理解を促進する上でも、効果が見込める。 |
| | | ③ 新たな売り場の創出 | 農業振興課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 事業の詳細の検討や調整は必要であるが、地産地消を推進していく上で有効な事業である。特に空き店舗利用による地産地消、及びネット販売については、策定本部の認識と整合している。 なお、東京におけるアンテナショップ[®] 開発については、その多くは県単位での取り組みがほとんどであり、市町村単位での実施は費用面などで難しいと考える。 |
| | | ④ (差別化商品の)有効な販売ルートの開拓 | 農業振興課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 費用面などの課題はあるものの、地産地消を推進していく上でトレーサビリティシステムは必要な取り組みであり、行政側の認識と整合している。 |
| | | ⑤ 食シティプロモーションの推進 | 農業振興課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 具体的手法や事業プロセスには課題があるものの、宇都宮ならではの農産物の開発、ブランド化など、宇都宮の顔の創出については、策定本部の認識と整合している。 |
| 2 | 「フードチェーン形成(生産・流通・消費の再編成)」 | ① 卸売市場の活性化事業 | 中央卸売市場 | <ul style="list-style-type: none"> (提案の一部については) 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> コールドチェーン化推進のための温度管理設備の拡充等は現計画でも取り組んでおり、第 5 次でも引き続き取り組んでいく。 I T を活用したせりシステムの導入は、市場内 LAN 整備に当たり検討してきたが、費用対効果や使用者のスキル等の面から導入を見送ったところである。 施設見学通路・設備等については、将来の大規模再整備を勘案すると実現は難しいと考えているが、ホームページ等による市場紹介や市場出前講座の実施など別の形で市民に開かれた市場の実現を目指す。 |

策定本部における検討内容一覧

| | | | | | |
|-------------------------|-------|-------------------|---|---|---|
| | | ② 検品・チェックの強化 | 生活衛生課 保健所総務課 食肉衛生検査所 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 食環境が多様化する中、食の安全を確保するため食品の検査体制を強化することは重要であるが、市の既存事業の強化により効果が見込めると考える。 市内に流通する食品については、食品衛生法で定める規格基準等のあるものを中心とし、年間計画を立てて収去検査を行っているところである。 また、平成18年度に農薬等のポジティブリスト制度が導入され、検査機能の拡充、強化を図っているところである。 さらに健康食品と称した医薬品成分を含む無承認無許可医薬品の取締り等についても、医薬品成分が検出された製品を販売している業者に対する監視指導を、薬事法に基づき県と連携して実施しているところである。 |
| | | ③ 朝市開催事業 | 農業振興課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 事業の詳細の検討や調整は必要であるが、地産地消を推進していく上で有効な事業である。 |
| | | ④ 食農教育・食育の推進 | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事業など、詳細の検討や調整が必要であるが、食農教育・食育の推進を実施することは、消費者における「食」と「農」に対する理解を促進する上でも、効果が見込める。 |
| | | 3 「戦略的住民参加型観光の推進」 | ① 地域の魅力再発見マップづくり事業 | 観光交流課 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する |
| ② ロングステイ・ニ地点居住サービス事業 | 観光交流課 | | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 事業プロセス等には課題があるものの、農村交流、産業体験、食文化など、地域産業や文化に触れられる観光ニーズが強くなっている中、ロングステイや居住サービスは交流人口を増加させる施策のひとつと考えられるが、滞在者受入れ先の確保や受入側への支援策の検討など、大きな課題があるが、その方向性については策定本部の検討と合致する。 | |
| ③ グリーンツーリズム・体験農業による都市交流 | 観光交流課 | | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> グリーンツーリズム・体験農業による都市交流は、魅力ある観光資源の活用寄予するものと認識している。 また、癒しやすさを希求する市民等のニーズを捉えており、農村の活性化を図るうえでの重要な取り組みであり、行政側の認識と一致している。 さらに、地元農家等との連携協力が不可欠で民間主体となった取り組みであり、事業効果が見込めるものである。 こうしたことから、事業内容や取り組みについては関係者との協議調整は必要ではあるが、行政側の取り組みの方向性と一致している。 | |

策定本部における検討内容一覧

| | | | | | |
|---|-------------|-----------------------|-------|---|---|
| | | ④ 食・ツーリズム事業(観光と食との合体) | 観光交流課 | <ul style="list-style-type: none"> 具体化に向けては、課題が多いことから、市民意向のひとつとして今後の事業立案の参考とする | <ul style="list-style-type: none"> 農村交流、産業体験、食文化など、地域産業や文化に触れられる観光ニーズが強くなっている中、既存の地域資源をいかに観光資源として活用していくかが課題であり、既存資源に対する意識啓発や活用方策の創出が優先されるものと認識している。 食を楽しむ新たな観光事業を大谷で起こして欲しいという提案については、今後の行政運営の参考としたい。 |
| 4 | 「新誘客法の開発」 | ① 観光ネットワークの構築 | 観光交流課 | <ul style="list-style-type: none"> 具体化に向けては、課題が多いことから、市民意向のひとつとして今後の事業立案の参考とする | <ul style="list-style-type: none"> 大谷地域への交通アクセスの向上は、大谷観光の推進に寄与する事業であるが将来の市全体の公共交通ネットワークとの調整など、長期的な検討が必要である。 |
| | | ② 観光ボランティア組織の形成 | 観光交流課 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティア組織として、昨年7月に「うつのみやシティガイド協会」の課題のひとつに、会員増加や若年層の理解があげられている。 一方、市の既存事業ではカバーできていない意識啓発や人材育成を民間主体で実施する組織であり、より一層の効果が見込める。 |
| | | ③ 観光オルガナイザーの設置 | 観光交流課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 来訪者の利便性向上のためには、観光アクセスの改善は重要と認識しており、その具体的手法としてオルガナイザーの設置が最善かどうか、その具体的手法や事業プロセスについては検討する必要があるものの、取組みの方向性については策定本部の認識と一致している。 |
| | | ④ ロケ誘致事業 | 観光交流課 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> ロケーション活動の円滑化と、映画・TV等を通じた本市のさまざまな情報・文化・魅力の発信力を高めるため、平成16年度より宇都宮観光コンベンション協会内に「宇都宮フィルム・コミッション」を設置し、ロケ地紹介や積極的な撮影ロケ等の支援に取り組んでいる。 すでに本市観光イメージの向上に寄与する事業と捉えており、その方針については策定本部の認識と一致している。 |
| | | ⑤ 市長の広告塔化 | 観光交流課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 具体的手法や事業プロセスについては課題を要するものの、市長の広告塔化は、これまでの宇都宮の観光イメージを変えていくアイデアのひとつとして、今後の観光戦略における方向性が策定本部の認識と一致している。 |
| 5 | 「産業教育・意識啓発」 | ① 中学生から大学生までの起業家教育の推進 | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 学校及び企業の協力を得る必要があり、今後、両サイドの意見等を考慮して具体化することになるため、提案事業をそのまま具体化できるかどうかは現段階では不明だが、「新規開業・新事業創出の促進」には、チャレンジ精神旺盛な若者を育成する必要があると考える。 |
| | | ② 女性起業家の啓蒙支援 | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 既に他の機関で実施している事業と連携を図りながら、起業家養成事業の一環として、女性起業家をはじめ、様々な対象者に応じた起業支援が必要であると考えている。 |

策定本部における検討内容一覧

| | | | | | |
|---|------------------------|--------------------------|---------------|---|---|
| | | ③ シニア層の起業啓発支援 | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 既に他の機関で企業OB等を活用した事業を実施しているが、起業家を育成するには、企業OBをはじめとするシニア層の経験や知識の活用も有効な手法であると考えている。 |
| 6 | 「起業のための環境整備」 | ① 起業の芽出し | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 起業コンテストによるエンジェルの投資は、エンジェルの確保等を考慮すると、市が主体となって実施することは困難であるが、外部からの投資を得られるように、起業の芽だしと成長を促進するための事業は必要である。 |
| | | ② 起業ファンドの形成(離陸支援) | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 「財源」、「優れた目利き力のある人」、「ファンドの収益力」の確保等を考慮すると、市が主体となって起業ファンドを形成することは困難であるが、助成金や融資制度等とあわせて総合的に検討する必要があると考える。 |
| 7 | 「起業ネットワークの構築とモデル事業の実施」 | ① 異業種交流会を通じたネットワークの形成・構築 | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> ネットワークを拡充していくことが、起業家の成長には必要不可欠であると認識しているが、既存事業である「宇都宮ベンチャーズ交流サロン」の拡充により対応が可能。 |
| | | ② 産学連携による新商品の研究開発 | 産業政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき（一部）実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 産学双方の意見も取り入れて事業実施する必要があるため、提案事業をそのまま具体化できるかどうかは現段階では不明だが、地域産業の創造性を高め、都市間競争に打ち勝つために、必要な取組みであると考え。 |
| 8 | 「ニート・フリーター対策、若年就業促進対策」 | ① 職業観の醸成 | 商工振興課 青少年課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 青少年の社会的自立において、職業観を醸成していくことは重要であり、事業手法等については課題があるものの、取組みの方向性については策定本部の認識と整合するものである。 本人だけでなく保護者へのアプローチも必要であると認識している。 ニートを含めた若年無業者等が参加しやすい研修・教育機会の設定については、機会の工夫や充実等が必要な一方、ニート自身にどう訴えかけ参加する気にさせるかも大きな課題である。 職業体験の実施については、企業や学校の協力が不可欠であり、その推進にあたっては、単なる体験にとどまらない双方にとってメリットが生まれるようなものにしていく必要がある |

策定本部における検討内容一覧

| | | | | | |
|----|-------------|---------------------------------|---------------------------|---|---|
| 9 | 「女性の就業環境整備」 | ① 育児環境の充実 | 商工振興課 男女共同参画課 児童福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画案策定の中で、事業化の素材として、または事業コンセプトや発想を踏まえ、市において多角的視点から具体化及び計画計上の可能性を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 女性の社会進出が進行するなか、育児と仕事の両立など女性の就業しやすい環境の整備が求められており、企業が積極的に子育てに関わるきっかけづくりに効果が期待できる。 育児休業制度活用企業調査については、既存の事業所向け調査等にその項目を盛り込んでいく。 (育児休業制度活用にかかる)優良企業の表彰制度については、下記②におけるノー残業企業表彰制度と併せ、今後実施予定の「優良事業所表彰事業」において提案内容の反映を検討していく。 育児休業制度の活用などに積極的に取り組んでいる事業所等を顕彰することで、就業環境の整備に積極的に取り組んでいる企業の発掘や促進を図るなど、事業主の協力強化を推進し、働きたい女性が仕事に能力を発揮できる環境づくりを効果的かつ着実にを行う必要がある。 社内環境整備(託児所設置企業への補助金支給)については、国の助成金との競合や小規模企業では対応しづらいなど課題もあり、また、個々ではなく総体でどう育児環境を充実させていくか検討することも必要と思われる。 |
| | | ② 宇都宮版ワークシェアリングの推進 | 商工振興課 | <ul style="list-style-type: none"> 具体化に向けては、課題が多いことから、市民意向のひとつとして今後の事業立案の参考とする | <ul style="list-style-type: none"> 環境整備に向けた労使の自主的な判断と合意が重要であり、それと併せて、国が法整備等を行い、必要に応じ罰則等で指導監督なども行いながら環境整備を進めていく必要もあるなど、定着には相当長期間を要すると思われる。 また、ワークシェアリングの実施については、職務の分割可能性や賃金と仕事量をリンクさせる給与調整等が重要なポイントと考えており、今後、法制度の整備や改正も含め、国の対応や労使の動向などを見守っていく。 なお、ノー残業企業表彰制度については、上記①における育児環境の充実における優良企業の表彰制度と併せ、今後実施予定の「優良事業所表彰事業」において提案内容の反映を検討していく。 |
| 10 | 「魅力ある拠点づくり」 | ① 五感に働きかける仕掛けづくり (魅力ある拠点づくり) | 地域政策室 | <ul style="list-style-type: none"> 具体化に向けては、課題が多いことから、市民意向のひとつとして今後の事業立案の参考とする | <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の活性化において、魅力ある拠点づくりは重要であると認識しており、中心市街地の拠点となる広場や公共施設などの整備を進めているところである 今後、これらの施設が中心市街地の賑わいの拠点として、効果的に活用される仕組みづくりを検討する必要がある 提案の五感に働きかける仕掛けづくりについては、具体的な内容や手法が不明確であり、より詳細な事業イメージが欲しいところである。 |
| 11 | 「アクセス改善」 | ① 駐車場と拠点のルート改善 | 地域政策室 | <ul style="list-style-type: none"> 既に同様のコンセプトに基づき(一部)実施しており、提案を踏まえ、既存事業の強化・拡充等による対応を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者との調整や中心市街地の交通体系の検討など、多くの課題が残る 特に駐車場、バス路線の見直しについては、市全体の公共交通ネットワークにおける中心市街地の交通体系のあり方を検討する必要があるほか、料金の見直しも含め民間事業者の協力が不可欠である 回遊性を高めるための遊歩道造りについては、現道の美装化や交通規制などにより快適な歩行空間の確保に取り組んでいるところであるが、地域住民のさらなる理解と協力が必要である。 |

策定本部における検討内容一覧